

平成29年2月23日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	碧南市
連絡先	部署名	総務部経営企画課政策推進係
	担当者役職・氏名	係長 本多 真
	電話番号	0566-41-3311 (内 218)
	FAX番号	0566-48-0077
	メールアドレス	keieika@city.hekinan.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：高齢者の移動手段の確保について

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

碧南市では、介護及び支援の必要がない比較的元気な高齢者（一般高齢者）を対象に、介護予防を目的とした筋力トレーニング施設である「貯筋ルーム」を開設しており、多くの一般高齢者に利用されている。介護予防に高い効果が期待できるため、今後、高齢者の増加に伴い、増設を予定している。

一方、市内の公共交通をとりまく状況は、南北に名鉄三河線が敷かれ、市中央部の市役所を拠点とし交通弱者のための「くるくるバス（無料）」が整備されているものの、バス停の位置、運行ルート及び時間が決まっていることから、不便さを拭えない状況にある。

また、高齢ドライバーの交通事故が増加する傾向にあり、今後、運転免許証の自主返納が増加することも考えられ、一般高齢者の移動手段の確保が将来に向けての課題となっている。

この課題解決の一つの方法として、自動走行システムの活用が挙げられる。一般高齢者でも交通手段がないからといって家に閉じこもらず、このシステムを活用し、好きな時に「貯筋ルーム」をはじめ様々な健康教室等に参加できるよう支援するものである。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者

等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど。)

現在、碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年3月策定)の基本目標4「元気あふれる地域づくり」において、高齢者向け筋力トレーニング施設である貯筋ルームの運営により一般高齢者の介護予防を図り、「健康寿命の延伸」を目指す施策を位置づけている。

また、直接的に自動走行システムを活用して高齢者の交通手段の確保する記述をしている計画等はないが、今後策定する第7期碧南市高齢者ほっとプラン(H30~H32)」において、その方向性を位置づけるよう検討している。

(スペースは適宜広げて記載してください)

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設(駅、病院、公共施設等)を示してください。

1 ルート(起点→終点)

起点 「碧南市役所」 → 終点 「あおいパーク(市営の体験型交流施設)」

2 ルート(地図)



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

一部、市内巡回バスルート有り（往路5便、復路5便）。

臨海工業地帯への主要道路となっている。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約6.2km（所要時間 約13分）
車線数	片側1車線 片側2車線（部分的に中央分離帯有り） 片側3車線（中央分離帯有り） 白線一部劣化
道路構造	歩車分離 部分的に勾配有り（名鉄三河線とのアンダーパス有り） 幹線道路（国道247号）への合流有り
道路種別	県道303号（一般県道 平坂福清水線）⇒ 県道45号（主要地方道 安城碧南線）⇒ 国道247号 ⇒ 市道0105号 ⇒ 市道0244号
トンネル、踏切	無し
交通量	通勤時間帯のみ、交差点付近に渋滞が発生する
交差点	右左折する四差路7箇所、T字路2箇所
起点・終点	起点：碧南市役所 終点：あおいパーク（市営の体験型交流施設）
その他特記事項	臨海工業地帯への通勤路になっている。

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

(1) 道路の様子（主要地点数カ所）

名鉄アンダーパス



水族館西交差点

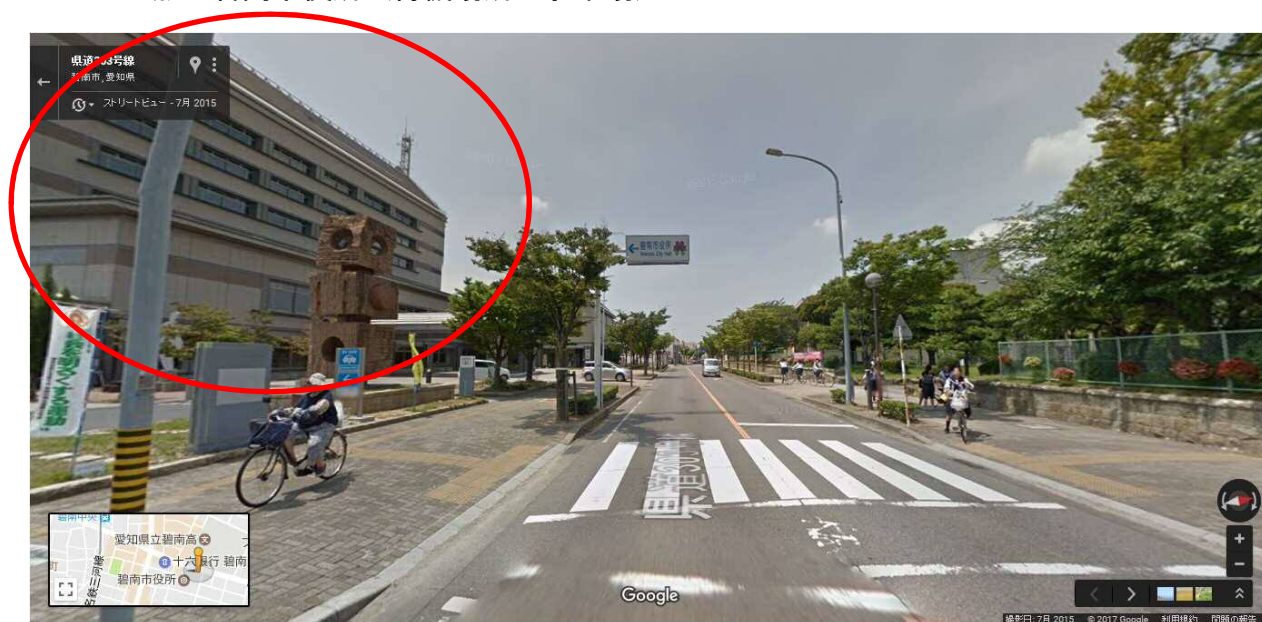


港本町交差点



(2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）

起点：碧南市役所（待機場所＝駐車場）



終点：あおいパーク（待機場所＝駐車場）



(3) 車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

(2) と同様

6 高精度3Dマップの有無

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

現状は特にありません

8 その他参考資料（ある場合は添付）

終点「あおいパーク」とは：「農業と食と健康」をテーマにした市営の体験型交流施設。野菜のもぎ取り体験や直産市、観賞温室の他、レストラン、ハーブ風呂等の施設があり、子供からお年寄りまでが楽しめる施設。年間入場者は100万人を超えている。平成29年度より、高齢者向け筋力トレーニング施設として施設の一部を運用する予定

「貯筋ルーム」とは：高齢者（60歳以上）を対象に、トレーニングマシンを利用して、老化により動かなくなった神経・筋を再活動化させて動作性の向上・維持を促すことにより生活機能を向上させ、要介護状態になることを防ぐことを目的とした施設。平成29年度より、あおいパークの中に、貯筋ルームの市内2か所目として開設を予定しており、年間延10,000人を超える利用者を見込んでいる。

平成29年2月23日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	碧南市
連絡先	部署名	総務部経営企画課政策推進係
	担当者役職・氏名	係長 本多 真
	電話番号	0566-41-3311 (内 218)
	FAX番号	0566-48-0077
	メールアドレス	keieika@city.hekinan.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：観光振興対策

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

近年の訪日外国人観光客の増加、また2020年の東京オリンピック開催を控え、碧南市では観光産業の振興を喫緊の課題として認識している。観光客誘客のため、市内外に様々な手段で碧南市の魅力発信に努めているものの、碧南市においては主要駅から観光スポットへの交通手段が不足しているため、実際に碧南市を訪れた観光客からは交通の便についての不満の声が目立つ。碧南市への観光客の満足度を上げ、今後の観光客の増加に結び付けるためには、市内の交通網の充実が不可欠である。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

碧南市では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「新しい人の流れづくり」を基本目標の一つとして掲げており、観光の強化はそのための具体的施策として位置づけられている。その中では、観光施設の充実や活性化による魅力発信や、イベントの拡充による観光の振興を目指すとしているが、いずれの手法においても交通手段の充実は前提条件として不可欠である。市内の交通手段が乏しい碧南市では、自動走行車を活用した旅客サービスを課題解決のための手法の一つとして認識、期待している。

(スペースは適宜広げて記載してください)

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

1 ルート（起点→終点）

起点 碧南駅 → 終点 あおいパーク

2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

一部、市内巡回バスルート有り（往路5便、復路5便）。

一部、臨海工業地帯への主要道路となっている。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約3.8km（所要時間 約9分）
車線数	片側1車線 片側2車線（部分的に中央分離帯有り） 片側3車線（中央分離帯有り） 白線一部劣化
道路構造	歩車分離 幹線道路への合流有り
道路種別	国道 247号 主要地方道 名古屋碧南線
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	時間帯により、交差点付近に渋滞が発生している
交差点	右左折する四差路4箇所、T字路2箇所
起点・終点	起点：碧南駅 終点：あおいパーク
その他特記事項	一部、臨海工業地帯への通勤路になっている。

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

(1) 道路の様子（主要地点数カ所）

港橋北交差点



大浜小北交差点



港本町交差点



(2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）

起点：碧南駅（待機場所＝ロータリー）



終点：あおいパーク（待機場所＝駐車場）



(3) 車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

(2) と同様

6 高精度3Dマップの有無

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の前定・予算措置状況等）

現状は特にありません

8 その他参考資料（ある場合は添付）